

歯学部附属歯科技工専門学校
令和5年度自己点検・評価及び学校関係者評価 報告書

1 目的

歯学部附属歯科技工専門学校（以下「本校という」）において実施した自己点検・評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による評価を受けることにより、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることなどを目的とする。

2 基本方針

本校において、自己点検・評価を実施し、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月策定）を参照の上、数名の学外評価者による学校関係者評価を実施する。

① 自己点検・評価の実施

本校において、点検・評価項目を4項目設定した。

学校関係者評価実施前に、本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を作成した。

（A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない）

<点検・評価項目>

① 人材育成の達成を目的とした指導方針の統一，情報共有ができているか。
② 個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか。
③ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により，カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。
④ 【重点目標】 学生募集活動は適正に行われているか。

② 学校関係者評価の実施

- (1) 学外評価者による評価は，本校からの提供資料によるほか，授業，学校行事等の見学，校長・教職員及び学生との面談により行った。
- (2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）の各評価項目についての資料等を提示し，評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。

(3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)にまとめるとともに、以下の4段階により評価した。

(A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない)

(4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」(様式1)にて評価結果(総評)を作成した。

3 学外評価者

① 卒業生

飯沼 邦秀(昭和60年度歯学部附属歯科技工専門学校卒業生)

② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

石川 功和(東京都歯科技工士会会長)

③ 地域住民

椎名 芳江(元歯科技工専門学校教員)

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和5年10月26日(木) 午後3時55分～午後4時40分

② 第2回 令和5年11月24日(金) 午後6時～午後9時

③ 第3回 令和5年12月14日(木) 午後3時58分～午後4時20分

5 評価結果(総評)

全国的に歯科技工士が不足し、歯科技工業界だけでなく、歯科医療にとっても危機的状況にある。貴校は附属の歯科技工専門学校で夜間課程という特殊な一面があるが、今後も歯科技工を志す人材を増やすために努力を継続してほしい。

また、近年は在学生の年齢や家庭環境が様々で、少ない教員での対応は難しいのではないかと考えていたが、実習を見学した際に、学生とのコミュニケーションが取れており、教員の学生個々に対するサポートや指導ができていると感じた。今後は国家試験の合格率向上にも期待する。

以 上